

オアシスのみず

(上演時間 約25分)

みんげき組

● 登場人物 (24名)

シマウマ A・B・C・D

ガゼル A・B・C・D

サイ A・B

ホロホロ鳥 A・B (飛ぶシーンがあるので、両腕が羽っぽくなっている衣装だと面白い)

キリン A・B (首をかくんと落とすシーンなどがあるので、首が長いと面白い)

ゾウ A・B (足をふみ、太鼓をたたく)

ワニ A・B (両腕を上顎、下顎として前に伸ばし、上下にガオーッと開いて威嚇できるような衣装にすると面白い。両腕に歯をつけておくなど)

雨の神様 A・B (舞台左右の少し高い所で、雲の上に乗って、下界を見ているイメージ)

雨の精 A・B・C・D (魔法の杖を持ち、袖を広げると、雨に見立てたテープがたくさん垂れ下がっているような衣装など。女の子に合う役)

ナレーター

● あらすじ

動物たちが棲むサバンナに、雨が降らない日が続きます。困ってしまったみんなが、なかよく雨乞いの踊りを踊ると、神様は雨を降らせ、オアシスを作ってくれました。しかし、それを怖いワニがひとりじめしに来て、水を飲ませてもらえなくなったみんなは大騒ぎ。さあ、なかよくできない動物たちを見た神様は…??

● 作者より

このお話は、生命にとって何よりも大切な「水」を題材にするために、サバンナが舞台になっています。登場する動物たちには、実際の弱肉強食を思わせるような関係性は持たせず、子どもたちが楽しめそうな、個性あるキャラクターを割り振ってあります。彼らのやり取りの中で、「分かち合う」「ことの大切さを感じ取ってもらえるよう、作りました。

雨の神様は、「なかよくする」「ことと」「争う」ことに対して、全く正反対の行動を取ります。雨の精とともに、「なかよくする」「ことの大切さ」を印象づける、重要な役どころです。

登場人物 (ナレーターを除く) を、24名に設定してあります。実際に演じる子どもたちの人数に合うよう、セリフの統合や分割を適宜行ってください。

● 大道具、その他

サバンナを思わせる草木や、さんと輝く太陽が描かれた背景画などがあると、雰囲気が出ます。

オアシスを、大道具で作る必要があります。出番まで、手前に背の高い草など(これも大道具)を置いて、ワニ役の子たちとともに隠しておくとういいます。それを神様が持ち去るシ

♪ 音楽①

—幕が開く—

ナレーター

ここは、太陽がさんさんと照りつける、サバンナの
大草原。動物たちがたくさんいます。
いつもは暑くても元気な動物たちですが、あれあ
れ、なんだか元気がないようですよ。

音楽、F0

サバンナを思わせる、草
や木と、さんさんと輝く
太陽

背の高い草などを手前に
置いて、オアシスとワニた
ちを隠しておく

シマウマA

もうどれくらい、雨が降ってないんだらう。

シマウマB

オアシスがぜんぶ干からびて、

シマウマC

水がなくなってしまった。

シマウマD

のどが、からから。どうしよう？

ナレーター

オアシスというのは、サバンナにある、大きな水た
まりのことです。

ガゼルA

ねえ。どうする？

ガゼルB

困った。困った。

ガゼルC

ねえ。どうする？

ガゼルD

困った。困った。

キリンA

あたくしたち、もう、

キリンB

たおれてしまいそう。

ホロホロ鳥A

そうだ。みんなは、聞いたことない？ ホロホロー。

ホロホロ鳥B

みんなで雨乞いの踊りを踊れば、雨の神様が、雨を
降らせてくれるかも知れないって。ホロホロー。

サイA

いいっすねー。いつもばらばらなぼくたちだけど、

サイB

みんなで一緒に踊ってみることにしようっす。

ゾウA

こんなリズムが、できたゾウ。

ゾウB

踊ってみるんだゾウ。

動物たち（ゾ
ウ以外）

うん！

♪ 音楽②

（太鼓やタンバリンなどのリズムに、ピアノのメロ
ディを重ねる。16小節程度）

動物たち

雨の神様。雨を降らせてください！

サイたち、腕くみをして
うなづく

ゾウたち、足で地面をふ
みふみ、太鼓をドンドコ
たたき始める

動物たち、タンバリンや
すずなどを手に、リズム
を取り、踊り始める

雨の神様たち、左右の高
い所に登場する

動物たち、祈るように、
パチンと手を合わせる